



松 総 政 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

松前町長 前 田 一 男



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号をもってご依頼のありましたこのことについて、別添のとおり提出致しますのでよろしくお取り計らい願います。

〒049-1592

北海道松前郡松前町字福山 248 番地

松前町役場 総務課 政策推進 G 松橋・宮島・佐藤久

TEL0139-42-2275 FAX46-2048

E-mail:takeshi.miyajima@town.matsumae.hokkaido.jp

今後の道路政策や道路の整備・管理について〔松前町〕

I 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

[1] 道路財源の安定確保について

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展にとって欠くことのできない最も基本的な社会資本であります。

物流促進、観光振興、多市町村との交流・情報交換及び連携強化、高次医療施設へのアクセスなど、道路整備が地域経済に与える影響は、図り知れません。

地域高規格道路「松前半島道路」の早期整備は、道南一帯の地域経済の発展、まちづくりの推進に必要不可欠であります。

地域の成長力と基盤強化の為に、道路財源の安定確保について強く要望致します。

[2] ネットワークの戦略的整備について

北海道は、積雪寒冷地であるとともに広大な面積を有し、都市や町村が広域に分散した地域構造となっていますが、道路をはじめとする社会資本の整備状況は、全国と比較して未だに十分とは言えません。特に、渡島・檜山管内では半島地域の豊かな自然環境を活かした漁業や農業、個性的な歴史・文化・景観を活かした観光などを根底から支え、さらに地域の医療や日常的生活を確保する基礎的な社会基盤となっている道路の確保が非常に重要であります。

南北海道においては、道央圏と南北海道を結ぶ北海道縦貫自動車道の整備や、渡島・檜山両支庁を結ぶ高規格幹線道路函館・江差自動車道の整備が進められておりますが、未供用の区間を多く残されています。

函館都市圏で深刻化する交通混雑を緩和しつつ函館空港と高規格幹線道路を結ぶ地域高規格道路函館新外環状道路の整備も着手したばかりです。

また、地域高規格道路松前半島道路に関しては着手に至っていない状況です。

このように南北海道は未供用の区間や未着手の区間が多く残されているため、地方部における地域の産業、経済、観光、地域の安全・安心を支える基礎的な社会基盤である高規格幹線道路や地域高規格道路による道路ネットワークの一日も早い整備が必要不可欠です。

[3] 道路除雪、防雪について

北海道は冬期間の道路除雪、防雪により道路交通を確保することが不可欠となっています。幹線道路の除雪はもちろんですが、生活道路となっている道路についても除雪を行う必要があります。冬期間においても、まずは道民の交通を確保することが大切であり、地域の安全安心の基礎となる道路の除雪など雪対策が必要不可欠です。

冬期間は、道路の凍結や圧雪により、スリップの危険が高まり、夏に比べて車のスピードも著しく低下します。冬期間の交通事故対策として、適切に除雪、凍結防止、スリップの抑制を図ることが重要です。

また、近年は小雪傾向が続いたと言われてきましたが、平成17年、平成18年と2年連続で平年を上回る積雪があったところであり、住民の生活にも大きな影響が出ました。雪の量には経年的な変動が大きく、当初見込まれる予算を大きく上回る量の降雪があると、町では対処し得ない状況となります。このような状況にも適切に対処できる予算や仕組みが必要不可欠です。

[4] 防災対策について

松前町は、松前半島の南端に位置し、半島循環道路であり幹線道路となっている国道228号が町と他地域を結ぶ唯一の道路となっています。町の主要産業である漁業による水産物を運ぶための物流や日常的な生活物資の物流において、幹線道路である国道228号が唯一の流通路であり、さらに日常的な通院な急な発病による緊急的な搬送においても国道228号に頼っている状況にあります。

一方で海岸線を通る道路は台風や低気圧による越波や高潮の影響を受けやすい状況にあり、地形的には急峻な崖や斜面の近傍を通過せざるを得ない区間もあります。また、通行者の安全を確保するために雨量などにより通行規制される区間も残されています。

産業や日常生活の生命線となっている幹線道路の交通の確保は地域の死活問

題であるため、日常的な道路の維持・管理、安全の確保のための監視などが不可欠です。台風、大型低気圧、地震などにより越波、高潮、構造物の破壊、落石、雪崩などによる被害や、発生後の産業経済、地域社会への影響も大きいため、災害に強く地域の安全安心に寄与する道路の整備が必要不可欠です。

また、災害の予防や発生時の緊急対応、発生後の応急対策、復旧対策を迅速、円滑に行うことが必要であり、災害に対して普段から各関係機関が相互に連絡・連携するための体制の構築や、これらを通じた情報の提供が不可欠です。

[5] 観光を支援する道路について

北海道は、広大な土地を有していることから、ドライブ観光が圧倒的に多く、観光者が快適で安全に道路を通行することが観光の大前提となります。また、観光地周辺では集中的に交通需要や駐車場の需要が発生するため、渋滞、混雑が発生し、観光地の環境にも影響を与えることとなります。道路が観光に果たす役割は大変大きいため、観光を支援するための安全な交通の確保や渋滞、混雑を緩和するためのハード整備、適切な情報提供などが重要です。

また、函館・大沼・噴火湾ルートがシーニックバイウェイ北海道の指定ルートとなりました。このような取り組みは地域相互と行政が連携しつつ、地域の活性化に結びつくため、道南周辺を連携する新たなルートの開発は、広域的な観光や地域づくりに必要不可欠です。

II. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路事業は、無駄な道路が作られているのではないか、などの批判が一部にあります。地域の実情や課題などをしっかりと伝えると共に、説明責任を果たしつつ透明性を確保することが重要です。

また、限られた予算を有効に使うためのコスト縮減と重点化が必要です。